

企画展 |

Focus Exhibition: Treasures of Ryukoku University

龍谷の至宝

—時空を超えたメッセージ—

2019

7/13 - 9/11
[土] [水]

休館日:月曜日、7/16、8/13 (ただし7/15、8/12、9/2、9/9は開館)
開館時間:10時~17時 ※入館は16時30分まで



①



②



③



④

主催 龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞
特別協力 浄土真宗本願寺派、本山本願寺
後援 京都市、京都市教育委員会、京都市教育委員会
(公社)京都市観光連盟、(公社)京都市観光協会
NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都
協賛 富士ゼロックス京都株式会社

龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

① 奈良絵本 竹取物語 江戸時代
② 須弥山儀 田中久重作 江戸・弘化4年(1847)~嘉永3年(1850)
③ 釈迦御一代記図会 葛飾北斎画 江戸・弘化2(1845)年刊 ④ 長尾文庫 引き札 明治時代
作品保護のため、会期中展示替えを行います。その他、展示の詳細はHPをご確認ください。

380
YEARS
ANNIVERSARY

龍谷の至宝

時空を超えたメッセージ

龍谷大学は、2019年に創立380周年を迎えました。1639年に本願寺の教育施設「学寮」として設立されて以来、龍谷大学には多くの貴重な学術資料が蓄積されてきました。中でも、本願寺歴代宗主の蔵書コレクション「写字台文庫」や20世紀初頭に本願寺が派遣した学術調査隊である大谷探検隊の将来品などは、世界に誇る貴重な資料であり、その学術的価値の高さは、まさに「至宝」と呼んでも過言ではありません。

本展では、龍谷大学が所蔵するコレクションを、さまざまな学術分野から集めた一堂に会し、龍谷大学の歴史と所蔵学術資料の多様性をご覧いただきます。



須弥山儀
田中久重作
江戸・弘化4年(1847)～嘉永3年(1850)

展示構成

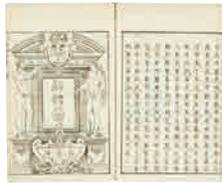
- 第1章：仏教東漸 インドから日本へ
- 第2章：浄土真宗のおしえ
- 第3章：本願寺学寮から龍谷大学へ
- 第4章：写字台文庫の至宝
- 第5章：大谷探検隊の精華
- 第6章：人間・科学・宗教



朱地連珠天馬文錦
アスターナ(トルファン)出土
7～8世紀 龍谷大学図書館
大谷探検隊が発掘した絹織物。ベルシヤ風の文様が、中国の伝統的な技法で織り出される。



【国宝】類聚古集
平安後期・12世紀 龍谷大学図書館
万葉集の歌をテーマ別に再編成し、その読み方を併記する。歴代歌人たちが重用した書の伝存唯一の写本。



解体新書
江戸・安永3年(1774)刊 龍谷大学図書館
本願寺歴代宗主の蔵書「写字台文庫」の1冊。著名な解剖学書の初版本。



阿弥陀如来立像 渡辺康雲作
江戸時代 龍谷ミュージアム
(吉門直子氏寄贈)
本願寺専属の仏師・渡辺康雲の手になる浄土真宗寺院の本尊。



【重要文化財】念仏式
平安後期・長承4年(1135) 龍谷大学図書館
平安時代に著され、古くに散逸したと考えられていた浄土教文庫唯一の写本。



反省会雑誌(英文)
明治31年(1898)～ 龍谷大学図書館
禁酒・禁煙を推進する「反省会」は龍谷大学の学生たちが立ち上げ、英語での情報発信も行っていた。

ハンズオン(体験学習)コーナーで掛軸に触れて、掛けてみよう!

掛軸は、礼拝対象であったり、床の間に飾って鑑賞したりするものです。しかし、住宅事情やライフスタイルの変化によって、掛軸に触れる(手に取る・掛ける・しまう)ことがない人も増えています。今回、富士ゼロックス京都株式会社のご協力により、ミュージアム所蔵掛軸のレプリカを作成しました。自由に手に取ったり、掛けたり、巻いたりしてみてください。(会場：2階展示室)

※作品保護のため、会期中展示替を行います。その他、展示の詳細はHPをご確認ください。

関連イベント

記念講演会

①7月28日(日) 13:30～15:00

入澤学長が380年にわたり受け継がれてきた「龍谷の至宝」の魅力を紹介。

「龍谷の至宝」

講師：龍谷大学 学長 入澤 崇

会場：龍谷大学大宮学舎清和館3階ホール

②8月18日(日) 13:30～15:00

時空を超えたメッセージ
東芝の創始者で須弥山儀の製作者田中久重に迫る。

「わが国工業技術の祖

からくり儀右衛門から田中久重(仮)」

講師：東芝未来科学館 副館長 谷口 敏之氏

会場：本願寺伝道院

事前申込み必要(①は先着200名、②は先着100名)

聴講無料

参加には観覧券(既に展覧会をご覧になった方は半券)が必要です。

申込み方法

龍谷ミュージアムHP内の申込みフォーム、FAX、ミュージアム受付でのお申込み、いずれかからお申込みください。お申込みの際には、①希望する日とイベント名、②お名前(ふりがな)、③参加人数、④ご連絡先(電話番号・FAX番号、メールアドレス) ⑤【ワークショップご参加の方のみ】学年を明記ください。

ギャラリートーク

展示室で学芸員が作品を鑑賞しながら解説します。

日時：8月10日(土)13:30～14:15

事前申込み不要/聴講無料
参加には当日の観覧券が必要です。

ギャラリートーク [特別編]

本展に展示する「縮象儀」の保存・修理に関わられた下出蒔絵司所三代目・下出祐太郎氏をお招きし、特別に開催します。『龍谷大学図書館所蔵「縮象儀」の漆工芸技法について』

日時：7月20日(土)13:30～14:30

事前申込み不要(先着40名)/聴講無料
参加には当日の観覧券が必要です。

ワークショップ

ミュージアムのお仕事体験
「大切なものを梱包してみよう!」

ミュージアムでは、大切な資料を運ぶ際、傷つかないように色々工夫をしています。当日は美術梱包のプロの指導を受けて実際に梱包を体験してみよう。

日時：8月9日(金) 13:30～16:00

会場：龍谷ミュージアム 1階101講義室

対象：中学生～高校生

事前申込み必要(先着20名)/参加費：500円

協力：ヤマトグローバルロジスティクスジャパン(株)

入館料	一般	500円(400円)
	シニア・大学生	400円(300円)
	高校生	300円(200円)

※()内は前売り・20名以上の団体料金 ※シニアは65歳以上
※中学生以下、障がい者手帳などの交付を受けている方およびその介護者1名は無料
※前売りは6月29日(土)～7月12日(金) ローンチケット(Lコード55646)などで販売



アクセス

- JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
 - 京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車 徒歩約2分
 - JR「梅小路京都西」駅から徒歩約14分
- ※当館には専用の駐車場はございません。
ご来館の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。

〒600-8399

京都市下京区堀川通正面下(西本願寺前)
TEL: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
https://museum.ryukoku.ac.jp/

2019年9月21日(土)～11月17日(日)

秋季特別展 「日本の素朴絵 — ゆるい、かわいい、楽しい美術 —」

どこかとぼけた味わいのある“素朴絵”の魅力を様々な時代・形式の作品からご紹介します。

伏見人形図 伊藤若冲筆 個人蔵

